

# 卒業のことば

わたしは小学校4年生の頃から、学校に行かなくなりました。中学校に上がってからも、あまり学校に行かないまま卒業しました。

少人数の授業だと聞いて、2007年の春、桃谷高校へ入学しました。

この学校でいちからやり直したいという気持ちだったのに、人と関わらなかった6年間、という壁は大きくて、本当にやっていけるのか不安でいっぱいになりました。毎日のように辛くて泣いていました。でも、絶対に一人にはならなかったんです。「いつもそばに、誰かがいてくれたんです。」

優しくされればされる程、本当はうっとうしいと思われてるんじゃないか？

と、思っていました。

もしかしたら今までそうやって、自分から距離をとってしまっていたのかもしれない。という事に気付きました。

高校では、周りにたくさんの方がいてくれました。友達と呼べる人も出来ました。いつの間にか学校に行くのが楽しみになっていました。

入学してからも、いろんなことがありました。その中でも、一番大きかったのが、大好きなおとうさんとおじいちゃんが死んだことでした。ショックで目の前が真っ暗になりました。そんな時もそばにいてくれたのが先生や友達です。

先生は「入学した時と比べたら、ほんま強くなったなあ」と言ってくれました。でも、自分一人で強くなったのではなくて、周りから強さをもらったと私は思っています。

わたしはいつもみんなに支えられてここまでできました。

友達みんな、「ありがとう。」

小学校の時学校に行けなかった私を、学校まで一緒に連れて行ってくれた羽田先生「ありがとう」、高校に行くのが不安だった私をはげましてくれた室井先生「ありがとう」、そして、何よりも卒業まで私を支えてくれた桃谷高校の先生方、「本当にありがとうございました。」

そして、迷惑をかけてばかりだったお母さん。「こんな私も、卒業と同時に20歳になりました。まだまだ子供だけど、私がお母さんの支えになっていきます。

生まれてきたことを後悔する毎日だったけど、桃谷高校に出会って、この世の中にある楽しさを知ることができて、たくさんの人と出会えて、今は、生まれてきて良かった」と心から思います。

「お母さんありがとう。」

私は、桃谷高校に入学して、優しさと強さを学びました。それをこの先に活かし、自分が辛い時には、周りの人に助けてもらいながらではありますが、しっかり解決できる自信もつきました。

私も誰かを笑顔にできる、人間になっていきます。

「4年半、本当にありがとうございました。」

2011年9月30日 卒業生代表